

予防接種は製造方法により生ワクチン、不活化ワクチン、メッセンジャーRNA ワクチンに3つに分類されます。また、法律により定期接種、任意接種、臨時接種の3つに分類されます。定期接種はさらにA類疾病とB類疾病があり、A類疾病には接種勧奨、つまり接種の努力義務があります。費用は市町村で負担されるので、無料です。任意接種は、定期接種以外のもので自己負担があります。臨時接種は、最近では新型コロナウイルスワクチンで実施されました。

わたしたちの体に病原体が入ると、病気を発症して、回復します。そして「免疫」、その病原体に対する抵抗する力を手に入れます。この「免疫」を、病気を発症することなく獲得させるのが予防接種です。予防接種は、発症予防、または重症化予防の効果が期待されます。また、集団で免疫力をつけることで、予防接種をまだしていない年少児や基礎疾患により予防接種ができない方から発症を守るという「集団免疫」という考え方があります。

副反応とは、予防接種に際に生じる免疫の付与以外の反応すべて、と定義されます。

よくある副反応としては、不活化ワクチンでは接種部位の発赤腫脹、また、全身症状

では熱や不機嫌を訴えることがあります。多くは1日くらいで改善します。BCG以外の生ワクチンは、上記のような副反応は起きにくいですが、接種の2-3週間後に、実際にその感染症の弱い症状が出る場合があります。まれですが重篤な反応としてアナフィラキシー反応や、脳炎脳症、血小板減少症などが挙げられます。もし、自分や家族に予防接種後の副反応が疑われたらまずは接種した医師へご相談ください。

予防接種に際し、基礎疾患のある方は事前に主治医に接種してよいか予め確認をしましょう。免疫不全といって免疫機能が十分でない方は、生ワクチンにより発症または重症化する恐れがありますので接種をしてはいけません。乳児期早期に接種するロタワクチンやBCGは、先天性免疫不全の診断がつく前に接種してしまうことがあり、特に注意が必要です。